

会議録

会議の名称	令和5年度 第3回 加東市社会教育委員の会議兼公民館運営 審議会
開催日時	令和6年3月14日(木) 10時00分から11時55分まで
開催場所	加東市社公民館 2階 視聴覚教室
議長の氏名 (安原 一樹) 出席及び欠席委員の氏名 ○出席 ・安原 一樹委員長 ・神戸 滋和副委員長 ・荒木 勉委員 ・藤尾 桂子委員 ・竹内 守男委員 ・土肥 昭彦委員 ・柿本 美穂委員 ・堂下 哲子委員 ・石田 れい子委員 ・尾崎 高弘委員 ○欠席 ・近澤 玉幸委員	
説明のため出席した者の職氏名 ・教育振興部長 鈴木 敏久 ・中央図書館 館長 田中 美紀子 ・人権協働課 課長 小坂 淳子 ・生涯学習課 課長 岸本 孝司 ・ 同 東条公民館 館長 竹内 喜博 ・ 同 滝野公民館 館長 松本 美香	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・生涯学習課 副課長 大西 直美 ・ 同 主査 福島 奨平	

議題、会議結果、会議の経過及び資料名

開会

1 あいさつ 安原委員長

2 協議事項

(1) グループ協議

テーマ「令和5年度 生涯学習事業の取組内容及び評価について」

・生涯学習課 ・人権協働課 ・中央図書館

○資料に基づき説明後、質疑応答

【質疑】

(生涯学習課)

委 員： 今年度の伝の助マラソンの課題と成果、スポーツ、文化表彰式のことについてと、それとスカイピアを業者に任せてどうだったか。

事務局： まず体育施設を指定管理者に任せて今現状どうかということについて、実際のところは指定管理者側の自主事業が成熟できていないので、すごく伸びたかといわれたらまだ1年目ということになる。

しかし、こちらとしては施設の管理は市がやっているときよりも少しはしっかりできているのではないかと思っている。ただ、利用を増やすということに関してはなかなか成熟できていないということになるので、指定管理者側と調整しながらより良い方向になるように調整していく。

伝の助マラソン大会については、今回は天候が不順だったということもあるが、昨年よりも多い人数に参加していただき、特に混乱もなく開催できたとは認識している。

今回3月9日に文化賞とスポーツ賞の表彰式をしたが、件数としては昨年に比べて少なく、エントリーも少なかった。引き続き各学校にしっかり周知させていただいて賞を受賞できるようにしていただきたいと考えている。

(人権協働課)

質疑なし

(中央図書館)

委 員： 参考資料の方で、他市より貸出数が多い理由をお聞きしたい。

総合的だといわれれば総合的だが、どういう風に分析されているか。それと昨年は社の図書館が工事で駄目だったと思うが、どういう風にお考えかお聞きしたい。

事務局： 資料の3ページ目の統計、令和3年度（2021年度）の実績になっており、これは全国的な調査になっている。最新が令和3年度となる。加東市については、17年連続で4万人以上か5万人未満で貸し出し密度が全国1位となっている。なぜかといわれるとやはり3館が市民の皆さんの近くにあるということと、加東市以外の本も市内で手軽に借りられるということが考えられるのではないかな。

予約件数のところはWebでインターネットを通じて予約していた数だが、貸し出しの数は図書館で借りて期間が延長できるが、その延長された方が数が貸し出し回数としてあがっている。

委員： 宅配サービスを受けるにあたって何か基準のようなものはあるか。

事務局： 年齢が65歳以上、障害者手帳をお持ちの方で、かつ家族に頼めない、例えば一人暮らしの方、家族が図書館の開いてる時間に行けない方、その条件をクリアした方が2名で、図書館から持って行っている。

委員： 例えばそのような方以外にも広げるということは。仕方が難しいと思うが、なんでも出前のご時世なので、配送業者で誰でも使えるようにするのも有りかなと思う。

事務局： とりあえずどの様な状況かわからないので、一度やってみて利用が増えてきたら業者さんに頼んだりという事も考えようかと考えている。

3 グループ協議

テーマ「令和5年度 生涯学習事業の取組内容及び評価について」

・生涯学習課 ・人権協働課 ・中央図書館の説明を聞いて

○3つのグループに分かれて協議】

4 全体交流（各グループから）

グループ①

委員： 全体を通して、人口のわりに事業数が多いのではないかなという意見が出ている。事務局の人数を考えた時に全体の事業が多い。裾野の広がりはいいい事だがもっと質を高めていく事が必要ではないかなという意見がでていた。事業にしても同じ人がいろんな事業に参加している様に思う、行かない人は行かないし、図書館利用についてはリピーターが多いのではないかな、という意見が出ている。

内容について、個人で学ぼうと思えばインターネットで学べる時代になってきている。民間がやっている事業やイベントも充実していて、個人で出来ないこと、公民館でしか出来ないこと、集団で学ぶ価値があるところに力を入れていけば良いのではないかなという意見も出

ている。

また、料理教室なんかについても、高度な事をするのではなく、今の時代、流れに合った、簡単に言えば冷凍食品をどう美味しくするかとか、今の生活に根付いた事で講座をしても参加者が増えるのではないか。学習内容を含めた中身の変換が必要ではないかという意見が出ている。あとは行きたくなかったが参加したらとても良かったという事もあるので、興味のないことから新たな発見動機づけにつながるような事も必要ではないか。誘い方の工夫も少し検討してはどうかということ。あと、ホームページ等でアナウンスがありますが、やっている内容の検索方法をもっと工夫すれば参加者、市民にとってアクセスしやすいイベント等の環境づくりが必要ではないかという意見も出ている。

アンケートについては、自由記述のところをもっとしっかり参加者を書いていただいて、そこをしっかりと読んでもっと分析する必要があるのではないかという意見が出ている。

グループ②

今回最後の成果としてお話してもらった中で、資料が多く、事前配付して欲しかったという意見が出ている。事前に見ておかないと問題点とか聞きたいことがここで発言しにくいので事前に欲しいという意見があった。

アンケートについて、良いことではあるけれども、実際のスタッフの意見を書いてほしい。成果の押さえ方が違う。良いことは良いと書いてあるが、ダメなことはどんな理由があるのかが書けていないので改善するなりそれを評価することが出来ないという意見があった。良い事はどんな事が良いのか、ダメなところはどんな事がダメなのかを聞き押さえていかないと評価にならない。

人権の市民のつどいの中で子どもの発表が一番良い。5回あるけれどそれをもう少し減らし3回に減らせば多くの市民に参加してもらえるのではとの意見が出た。

グループ③

現在子どもの参加者が少ないということが課題で上がっていた。PR方法も難しくなっている。個人で参加する事業についてはたくさん申込があるが、団体の競技、事業については声かけしても参加が少ない。参加したら役が当たるのではとかを懸念して参加しない人も増えているという実態がある。全体的に個人主義になっていて親世代、大人、近隣の人とのコミュニケーションがだんだん難しい時代になっていて、全体の広がりがなくなっているということが実際に起きているようだ。

解決方法としては、学校とか教育委員会などをもっと利用して、校長会で依頼するとか学校にチラシを配布するだけではなく、実際に出向いて行き、実物を見せてPRをするとかPR方法に工夫が必要な時代になっていっているのではないかという意見が出た。時代が進むにつれてだんだんその様なことが必要になっている。学校でもPTAがなくなっていったりしている所もあるようで、そこに地域の方も入ってPTCAという形にだんだん変わっていっている様だ。

【全体を通しての質疑】

委員： 部署間の報告の中でお聞きしたい。

滝野図書館をよく使っているが、20ページにあるように職員が研修会等に積極的に参加されてることはとても良いと思う。そういう中で滝野図書館に足りないものとか何を得られてきたかをお聞きしたい。専門知識とか滝野図書館に足りない専門知識は何なのかとか。資質向上に努めますとか今まで何が足りなくて今の状況があるのかなとか、得たものとかお聞きしたい。

事務局： 県立図書館とかでは新任の研修であったりレファレンスについての研修があり、入ったばかりの職員が講座を受講している。近隣図書館主催の講座であれば西脇市の図書館で実施されており、改めて図書館とは何ぞやとか基礎的な講座があり、ずっと仕事をしてますと最初の図書館に対する思いとか薄れがちになってくるが、そういうことを改めて勉強しにいく形になる。

委員： 図書館とは何ぞやの答えは。基本的なことだが職員さんがどう思っているのかが知りたい。

事務局： 一番初めに書いているが、基本的人権のひとつで自由に生きる権利というのがある。市民の方が読みたいもの（興味）、知りたいもの（教養）に今の図書館は資料で答えていく。答えを教えるのではなく個人に考えてもらうための資料を提供することを主に考えている。そういうところでリクエストに応えたり、今希望のものが加東市の図書館にはなければ、全国の図書館から低俗な本じゃない限り取り寄せたりするのが図書館の使命だと思っている。どこにあらうと本を貸し出しすることを基本に考えている。

3 報告事項

（1）第2回会議グループ協議意見まとめ

【質疑応答】

委員： 25ページ、担当職員が書かれたと思うが、回答は難しいと思うがこれは前向きに考える、これは無理ですとかを聞きたい。例えば地域

のクリーンキャンペーンは今大人しかやってない。子どもを参加させるように生活環境課に提案はできると思う。このまとめはよくまとめられているが、その次を今日するのかと思っていたが、時間的なものもあるので、次回に答えを出せる出せないというのをしたい。

事務局： 第2回の時に地域と学校をつなぐ社会教育の推進に向けてという事で、二つの観点で皆様に話し合っていた。その時には今後地域と学校の連携ということで、今、東条学園小中学校がコミュニティスクールという新たな体制でスタートしている。令和7年度は社学園の開校、令和10年には滝野小中一貫校の開校に向けて、コミュニティスクール、地域と学校の連携がすごく重要になってくる。

そこで社会教育委員の皆様にも意見をお聞きして今後の地域と学校の連携に生かしていけたらと考え、前回のテーマとさせていただいた。

この中で、今、東条地域では実際にクリーンキャンペーンについては区長さんにご協力いただいて、子どもたちに参加してもらうという体制に今年度取り組んだ。すべての地区でというのは難しいが、来年も増やしていけるように令和6年度も東条地域の方では実施しようと考えている。ここで出た意見については東条地域の方で生かしていったり、今後社、滝野地域が出来た時にこのようなご意見を生かしていきたいと考えている。今回は第2回の時の話しかできなかったが、令和7年度に向けては社会教育委員のこういう場でも地域と学校の連携の向けては随時話が出来たらと考えている。

(2) 令和6年度社会教育関係事業予定(東・北播磨、県、近畿、全国)

4 その他

- ・令和6年度加東市社会教育委員について
- ・令和6年度第1回会議開催時期 令和6年5月下旬～6月上旬頃を予定

閉会 神戸副委員長

令和6年5月9日